

2024年4月 診療カレンダー

住所: 東京都中央区日本橋大伝馬町13-8

2024年5月 診療カレンダー

メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

発熱外来
変わります
入学・進学
おめでとう
ございます

新しい
予約システム

18時最終受付

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

「今月の言葉」

「何か見えるかね？」(カーナボン卿)
「はい、素晴らしいものが」(ハワード・カーター)
～ツタンカーメン墓の発見時～



4/1から発熱外来が変わります

時間分離は終了します

電話かWEBで予約をしてからご来院ください
待合室では、マスクをして窓側のシートに座って
お待ちください

エジプト考古学

桜の便りに心が弾む春がやってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

先日NHKでエジプトのピラミッドの内部にこれまで知られていなかった未知の空間を、名古屋大学と高エネルギー加速器研究機構のチームが発見したというドキュメンタリーが放送されました。この事実については以前からメディア等で報告されており、目新しいことではなかったのですが、この発見にいたるまで(当然とはいえ)機器の搬入をはじめ多くの人々が関わっている様子と彼らの熱意、わかりやすい解説とあわせてたいへん興味深いドキュメンタリーでした。

私が小学生だったころ、ツタンカーメンの謎のようなエジプト考古学に関するテレビの番組も今よりも多く、はるか昔の古代エジプトが面白くていつも喜んで見ておりました。そこで考古学者が遺跡を発掘する様子に憧れて、当時小学校の校庭にあった小さな山で遺跡の発掘ごっこをしたり、大人になったら考古学者になりたいと学校の文集にも書きました。それを知った私の祖母に「幹ちゃん、考古学者は体力がないとできないからやめたほうがいいよ」と真剣に？諭されたこともあります。

最近では河江肖剰さんという名古屋大学の先生がYouTubeでエジプト考古学についての様々な情報をアップしており興味深く拝見しています。河江さんはNHKの番組でも紹介されていたWORLD SCAN PROGRAMというドローンなどを用いてピラミッドを3Dスキャンして計測するプログラムに参加しており、この計測によってピラミッドの作られ方について考察を行っています。私が子供の頃はピラミッドが古代に建造されたにはは大きすぎることや精密に作られていることから宇宙人が創ったものであるなどということがまことしやかに語られており、私も半分くらいは信じているところもあったのですが、河江さんのお話を聞くとやはりピラミッドは古代の人々が知恵を絞り工夫を重ねた末に作り上げた建造物だということが分かります。例えばピラミッドの内部の石にはピラミッドを運んだ人々のチームの名前が記されていたり、石にはノミで切り出された跡があったり、おもてはきれいに整えられているものの、裏側は荒く仕上げられていたりして人間的な面も認められます。

一般診療	月	火	水	木	金	土	日
10:00-13:00	●	●	●	●	●	●	×
15:30-19:00	×	●	●	●	●	×	×
●9:00-12:30							

また、サッカラの階段ピラミッドという階段状のピラミッドがありますが、階段状になったのはまだピラミッド建造を試行錯誤していた実験段階であり、それを経て現在よく見るような滑らかな四角錐の形になったといわれています。ピラミッドの内部にはコア構造という階段状のピラミッドがあり、その周りをきれいに整えて今のような形になったそうです。面白いですね。

さてエジプト考古学といえば我々にとってのアイドルは何といってもツタンカーメンでしょう。ツタンカーメンは正確にはトウト・アंक・アメンTutankhamunといって「アメン神の生きた似姿」という名前の古代エジプトのファラオです。私は小さいころにハワード・カーターとカーナボン卿がツタンカーメンの墓を発見したエピソードやその後のファラオの呪いというツタンカーメン王の墓の発掘をした人々が次々と亡くなるというエピソードをドキドキしながら読んだものですが、今はあまりその話は聞かないですね。一般的には知られていないですが、ツタンカーメンは歴代のファラオの中でもマイナーな存在で発見される前までは存在しないファラオとされていたこともあるようです。セティ1世の神殿の壁面に発見された歴代のファラオの名前が記された「アビドス王名表」には、ツタンカーメンやその父親であるアクエンアテンの王の名前が記載されていません。これはミスというわけではなく意図的に名前が記載されていないのです。というのもツタンカーメン王の父親のアクエンアテンは当時多神教であったエジプトで強大な権力を持っていたアメン(太陽神)神官団に対抗するべくアテン信仰の導入を始め、その後他の神々の祭祀を停止し、偶像を破壊するなど行い多神教から唯一神教へと宗教改革を行いました。この一神教への強制は結果的にエジプト中を混乱させ失敗に終わりました。その息子であるツタンカーメン王の時代にエジプトはアメン信仰に戻りました。このためアクエンアテンと、ツタンカーメンは異端の王とされて王名表には記載されていないものと考えられています。ツタンカーメンは体が弱く、実際には大きな権力を持つことなく若くして亡くなったため、墓の規模は小さく、存在が知られていなかったために盗難にあうこともなく豪華な埋蔵品が未発掘のまま見つかった可能性もありますね。墓から見つかった花輪や花束には王の死を悼む妃が置いたものかもしれないという推測もあり、なんとも歴史のロマンを感じさせてくれます。

それにしてもピラミッドという誰でも眺めることができるような大きな建造物の中にも謎に包まれた未知の空間があったり、胸像で有名なネフェルティティ女王の墓が見つかっておらず、(ツタンカーメンの義理の母のため)ツタンカーメンの墓の奥にあるのではないかとされていたり、古代エジプトをめぐる謎の解明と研究は世界中で続いています。日本の技術と熱意でワクワクするような世界的な発見がされることを心待ちにしています